

【渡島管内】 学校図書館の利活用促進を目指して（松前町立松城小学校）



校長先生による読み聞かせ

読書意欲を高める取組

松城小学校では、年に1回「全校おはなし会」を実施しており、管理職を含む教職員と町立図書館職員が、各教室に分かれて読み聞かせをします。児童は希望する教室を歩き、複数の読み聞かせを楽しめます。使用される本は、全て学校図書館の蔵書から選ばれており、事後に自分で手に取って読み直すことができるよう配慮されています。

ICTを活用した読書環境の整備

松城小学校の学校図書館では、学習に使用できるインターネット検索のサイト情報を二次元コードにして、書架の上や側面に掲示しています。修学旅行先の電子版観光ブックや北海道デジタルミュージアムのサイトなど、児童にとって分かりやすく学べる安全なサイトを紹介することで、学校図書館内で本とインターネット、それぞれの情報を補完し合いながら学習できるよう工夫されています。



書架上にある二次元コードの掲示

【釧路管内】 いつでも誰でも楽しい学校図書館を目指して（釧路市立共栄小学校）

本・学校図書館が「楽しい」と感じられるように

本に触れる機会を大切にし、様々なイベントを実施しています。読書スタンプラリーやしおり作り、表紙を隠して貸し出す「謎BOOK」、貸出し後にできるガチャ、おすすめ本を紹介するおみくじ等、図書委員会や保護者を中心とした読書ボランティアでアイデアを出し合いながら取り組んでいます。イベント等の準備は、読書以外の学校支援ボランティアも参加するなど、ボランティア同士の交流の場にもなっており、関わる方々が楽しんで活動しています。

いつでも本を借りられるように

「本を読みたい！」というタイミングで児童の思いに応えることを第一に考え、毎日、中休みと昼休みに貸出しを実施しています。カウンター当番が不在でも貸出用BOXに本を入れておけば、あとでスクール・サポート・スタッフ（SSS）が本を届けてくれます。本の返却作業や書架整理等をSSSや読書ボランティアが手伝うことで、図書委員の児童は、休み時間は貸出業務に集中できています。

図書の分類は、低学年の児童でも本を探しやすく、学習活動でも利用しやすいように、「動物の飼い方の本」などのわかりやすいテーマに工夫しています。また、保護者や先生方が自由に借りられる「PTA図書」も別に設けています。



当番不在時の貸出用BOX